

# 令和4年度事業計画

1. 法人事務局
2. ケアハウスやすらぎの里
3. 大庭デイサービスセンター
4. 在宅療養支援センターあんしん
5. 大庭ヘルパーステーション
6. グループホーム太陽の里
7. グループホーム本郷
8. グループホーム東出雲
9. 東出雲デイサービスセンター
10. 住宅型有料老人ホームやすらぎの里
11. 住宅型有料老人ホーム太陽の里 管理受託事業

社会福祉法人 敬仁会

# 【法人事務局】

## 経営の安定化に向けて

令和3年度は、前年度の経営悪化を改善するため、入居系事業所に対しては、早期の満床及び満床の維持、通所系・訪問系事業所に対しては、新規利用者獲得による稼働率増向上を急務として取り組みましたが、現時点において劇的な回復には至っていない状況です。

令和4年度は、経営の改善及び安定した運営を行うために、以下の5点を優先課題として取り組みます。

### ① 高い稼働率

全事業所が前年を上回る稼働率を必須課題として取り組む。

入居系事業所は、満床維持を図ることで安定した収益を出すことができるため、ケアハウスをはじめ、各グループホームも満床維持を図る必要がある。

通所系事業所は、定員到達を早期実現していき、収益増加に向けて取り組む。

訪問系事業所は、職員の稼働増を図り、無駄のない訪問の実施を図る。

居宅介護支援事業所は、各ケアマネージャーの実績に上がらない未利用者の整理及び、法人内事業所への紹介ができるよう各事業所への助言・提案を実施する。

この中でも、通所部門の大庭デイサービスセンターの稼働向上に向けて、最大限取り組むことを最優先課題とする。

### ② 住宅型有料老人ホームやすらぎの里の事業開始

生活支援ハウスは平成14年12月から実施主体である松江市の委託を受けて実施していたが、松江市から令和3年度末で事業を廃止するとの通知があった。

廃止後の施設の運用について協議した結果、令和4年4月1日から生活支援ハウスの施設を新たに住宅型有料老人ホームに転換して事業を開始する。

法人内の各部署をはじめ、地域包括支援センター及び医療機関の地域連携室等と連携し、入居者及び待機者を確保し稼働向上に努め、安定した事業運営を目指す。

### ③ 予算実績管理の徹底

月次の収支状況について各事業所管理者と法人事務局が共有し、課題の明確化及び改善・解決に取り組む。

### ④ 人材確保

介護施設では人材が最も重要な財産である。人件費増加となるが運営を継続していくためには、優秀な人材を獲得する必要がある。

1) ハローワーク等の各機関との情報共有及び収集

2) 現職員からの職員紹介の推進

3) 他福祉施設の情報把握（事業所閉鎖等）

### ⑤ 徹底した経費削減

水道光熱費を含め、日常にかかる費用についても最大限の削減意識を持って、経費削減に取り組む。費用対効果を見極め、要否の判断基準を厳しく設定し、削減効果が実感できるよう取り組む。

◆会議・委員会他◆

名 称	内 容
管理職会議	法人事業運営他
事故防止対策委員会	事故・ヒヤリ等の検証・対策
感染症対策委員会	感染症（食中毒）対策及び感染対策訓練
セラピスト委員会【新設】	リハビリの情報共有、リハビリスキルアップ
研修企画委員会	介護技術・接遇・事故防止・感染症・倫理等の職員研修企画
身体的拘束適正化検討委員会	身体行動制限・高齢者虐待
給食委員会	嗜好調査、アンケート等
安全衛生委員会	健康診断・職場環境・メンタルヘルス他
敬仁会祭り実行委員会	祭り企画運営
行事企画委員会	新年会・敬老会・餅つき会の企画

## 【ケアハウスやすらぎの里】

### ① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組む。

### ② サービス内容と生活の質の向上に向けた取り組み。

- ・苦情・相談に対する迅速対応を行い、入居者満足度向上に努める。
- ・少ない職員数（適正職員数）で1人1人の入居者様への対応の適正化を図るべく、要支援者・要介護者の適正人数調整及び、対応に時間を要す認知症高齢者の各グループホームへの転居に向けた取り組みを実施。併せて対応困難者の他施設への転居も状況に応じて実施し、生活の質を確保出来る体制構築に取り組む。

### ③ 職員の質の向上、離職防止に向けた取り組み

- ・毎月の勉強会にて学ぶ機会の確保（コロナ禍でも学べる資料作成に取り組む）
- ・職員目安箱（意見提案箱）の設置、意見等への随時返答並びに改善の継続
- ・業務体系の見直しを常に意識して、職員への負担の分散化を図る。
- ・法人内職員異動を活性化し、適材適所で長く勤められる体制構築を目指す。

## 【大庭デイサービスセンター】

### ① 数値目標

- ・介護：月 493名（1日平均16名）

緩和型：月 31名（1日平均 1名）

従前型：月 111名（1日平均 4名）合計：月 635名（1日平均21名）

※現在、定員35名/日に対し、登録数26名/日平均であるところを今後、定員35名/日に対し、登録数35名/日を目標とする

### ② 自事業所のアピール

- ・新たに開始した日曜営業について、新たな利用者獲得のポイントと位置づけ、営業活動の活性化を図る。
- ・定期的に他事業所の情報収集を行い、自事業所が選ばれる事業所となるようアピールポイントの発掘に貪欲になり取り組む。
- ・法人の居宅支援事業所との密な連携を図り、自事業所に足りない部分の把握に努め、営業活動に活かす。
- ・事業所独自の広報誌を作成し、対外的な広報活動の活性化を図る。

### ③ サービスの向上

- ・職員による支援差を無くし、支援の共通化を図るため、マニュアルの見直し及び再徹底を図る。
- ・利用者様及び家族様へのアンケートを継続実施し、結果の公表並びに改善提案や要望に対しては即時対応に努め、信頼を獲得します。
- ・事業所内勉強会の毎月開催（コロナ禍でも学べる資料作成に取り組む）
- ・認知症高齢者の増加に伴い、通常デイであっても認知症対応が不可欠となっている事から認知症の知識向上に努める（勉強会の持ち回り開催等）

## 【在宅療養支援センターあんしん】

### ① 数値目標

- ・要支援、事業対象者 24名/月
- ・要介護 1～2 57名/月
- ・要介護 3～5 21名/月
- ・月新規契約目標 1件/月

### ② 向上計画

- ・各包括支援センターや医療機関への定期的な訪問や電話連絡を行い、継続した連携強化を図る。
- ・毎週のミーティングを継続し、必要事項の周知、困難事例等の対応についても学ぶ機会として取り組む。
- ・法人の事業所という認識を強く持ち、法人事業所の稼働向上のために尽力する。特に通所系事業所及び訪問事業所に対し、最低月1回は、情報提供や助言を行う。
- ・各種研修会や法人内研修等に積極的に参加し、最新の情報収集を図る。

## 【大庭ヘルパーステーション】

### ① 数値目標

- ・要介護利用者 22名 (令和3年2月利用者 18名)
- ・要支援利用者 35名 (令和3年2月利用者 33名)
- ・障がい利用者 14名 (令和3年2月利用者 13名)
  
- ・訪問時間目標  
職員個々の稼働可能時間の80%を訪問時間目標とする

### ② 自事業所のアピール

- ・利用者及び居宅支援事業所のニーズに対応出来たケース等、営業活動を通じて、各居宅支援事業所等へ伝える事が出来る様、新たな営業ツールの作成に取り組む

### ③ サービス向上

- ・サービス提供責任者を中心に、利用者様に対し適切かつ同一の支援が実施できるように定期的に支援マニュアル等の見直しを図る。
- ・担当者会議に参加する際には、事前に事業所内で情報共有を図り、きちんとした内容を即時伝えられるように努め、訪問介護事業所としての責務を果たす。
- ・利用者様の変化に対し、一番身近で把握できることを活かし、各事業所や各居宅支援事業所等との連絡・連携・報告・相談を徹底し、解決を図っていく。

## 【グループホーム太陽の里】

### ① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組む。

### ② サービス向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指す。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図る。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努める。

### ③ 地域交流

- ・新型コロナウイルス感染症の状況にて地域交流が困難である為、地域向けの新聞等を増版し、地域の方々への情報発信に努める。
- ・感染状況が落ち着いた場合には、「太陽の里祭り」等を開催し、地域住民への参加を求め交流を図る

## 【グループホーム本郷】

### ① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組む。

### ② サービス向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指す。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図る。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努める。

### ③ 地域交流

- ・新型コロナウイルス感染症の状況にて地域交流が困難である為、地域向けの新聞等を増版し、地域の方々への情報発信に努める。
- ・感染状況が落ち着いた場合には、「本郷夏祭り」等を開催し、地域住民への参加を求め交流を図る

## 【グループホーム東出雲】

### ① 数値目標

- ・年間ベッド稼働率 97%

入院等による空床ロスについて、退院可否、退居有無の判断を適切に行うために医療機関等と密な連携を図る。

早期入居可能待機者への積極的な事前面談の実施を行い、空床時の早期入居に向けて取り組む。

### ② サービスの向上

- ・認知症専門職としての質の向上を目指す。
- ・施設内の研修、事業所の勉強会や施設外の「認知症介護基礎研修」「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」等へ参加しスキルアップを図る。
- ・各グループホームとの意見交換、職場体験等を計画し、法人内の各グループホームで統一した支援が行なえるよう努める。

### ③ 地域交流

- ・新型コロナウイルス感染症の状況にて地域交流が困難である為、地域向けの新聞等を増版し、地域の方々への情報発信に努める。
- ・感染状況が落ち着いた場合には、「いうなん祭」等を開催し、地域住民への参加を求め交流を図る

## 【東出雲デイサービスセンター】

※令和3年5月に太陽の里デイサービスセンターと統合しております。

### ① 数値目標

- ・利用者 1日平均 8.7名  
1月平均 260名

### ② 自事業所のアピール

- ・新たに開始した日曜営業について、新たな利用者獲得のポイントと位置づけ、営業活動の活性化を図る。また、認知症対応型通所介護である事を生かした営業活動の実施に取り組む
- ・定期的に他事業所の情報収集を行い、自事業所が選ばれる事業所となるようアピールポイントの発掘に貪欲になり取り組む。
- ・法人の居宅支援事業所との密な連携を図り、自事業所に足りない部分の把握に努め、営業活動に活かす。
- ・事業所独自の広報誌を作成し、対外的な広報活動の活性化を図る。

### ③ サービス向上

- ・ご家族様向けのアンケートを実施し、問題点について早期改善を図り、利用者様及びご家族様の満足度向上に努める。
- ・認知症専門知識を身につけるため、「認知症介護実践者研修」「認知症介護リーダー研修」への受講を行う。
- ・困難事例の方へ対応できるように毎月の勉強会及び認知症対応研修への積極的参加を行い、スキル向上に努める。

## 【住宅型有料老人ホームやすらぎの里】

### ① 数値目標

- ・年間入居率 50%

サービス開始時点から暫くは空室が多いと見込まれるが早期に入居者を確保し入居率の向上を目指す。

入居者・早期入居可能待機者の確保に向けて法人内各部署との連携を図る。また、地域包括支援センター及び医療機関相談室等へ定期的に情報を発信し連携を図り、空室の早期入居に向けて取り組む。

### ② 関係機関との連携

- ・引き続き入居者様の日常生活機能の変化を観察し、変化を感じた場合は早急に行政担当者及び担当介護支援専門員等に連絡を取り、連携して入居者様が安心して生活できるよう支援します。

### ② サービスの向上

- ・入居者様とのコミュニケーションをしっかりと図り、困ったときなどに安心して、相談できる関係を築いていきます。
- ・外出行事や季節イベントを出来るだけ多く実施し、入居者様同士の交流を深め、生活が孤独にならないよう支援します。

## 【住宅型有料老人ホーム太陽の里 管理受託事業】

### ① 関係機関との連携

- ・長期の入居者が多く、年々高齢化しているのご家族様、担当の介護支援専門員及びサービス事業者等と緊密に連携し、諸問題の早期解決を図り、安心して生活できるよう支援します。
- ・稼働率を向上、維持するため入居待機者を確保する。そのために地域包括支援センター及び医療機関相談室等へ定期的に情報を発信し連携を図ります。

### ② サービスの向上

- ・毎日の安否確認時等を活用し、入居者様の状況確認をするとともに困りごとや不安を解消できるよう話を聞くよう努めます。
- ・入居者同士の交流を深める手段として季節に応じた外出行事及び定期的なイベントやサークル活動を企画する。併せて敬仁会主催のイベントに参加するなどして交流を深め、日々の充実した生活を支援します。

※各事業所の地域貢献等の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況によって、可能な形での開催等に努めます。



## 【事業所別年間行事計画】

	法人	ケアハウス	大庭デイサービス	グループホーム太陽の里
4月		お花見外出	お花見喫茶 お花見外出	お花見・花苗植え
5月	監事監査 第三者委員会	春の遠足	鯉のぼり外出	お花見・野菜苗植え
6月	理事会 定時評議員会	笹巻作り	お菓子作り	笹巻作り
7月		七夕茶会	七夕会	七夕会・そうめん流し
8月	理事会	夏のデザート会	夏祭り	夏祭り・夏祭り週間
9月		敬老会	敬老会	敬老会
10月		敬仁会祭り・運動会	お菓子作り・運動会	芋掘り・お菓子作り・ 敬仁会祭り
11月	理事会	ドライブ外出	紅葉ドライブ	紅葉外出
12月		クリスマス会	クリスマス会 餅つき・忘年会	クリスマス会・忘年 会・餅つき
1月		初詣外出・新年会	初詣外出・新年会	新年会
2月		節分 豆まき	節分祭・バレンタイン	節分会
3月	理事会 臨時評議員会	ひな祭り茶会	ひな祭り会	ひな祭り会

	グループホーム本郷	グループホーム東出雲	東出雲デイサービス
4月	花見外出 花・野菜苗植え	花見外出	花見外出
5月	八雲こいのぼり見学	こいのぼり外出	こいのぼり外出
6月	笹巻作り	笹巻き	笹巻き
7月	本郷夏祭り	七夕会	七夕会
8月	すいか割り	納涼会	季節行事
9月	敬老会	いっなん祭	いっなん祭・敬老会
10月	本郷大運動会	保育園交流行事 敬仁会祭り	敬仁会祭り
11月	ぶどう狩り、紅葉外出	紅葉外出	紅葉外出
12月	クリスマス会 お餅つき	クリスマス会	クリスマス会
1月	新年会	お屠蘇会・初詣	初詣外出、新年会
2月	節分祭	節分祭	節分祭
3月	ひな祭り会	ひな祭り	ひな祭り

現在、コロナ禍で計画通り実施できないことも予測されますが、入居者様及び利用者様が少しでも楽しめるよう工夫した上で随時対応を心がけます。

## 【事業所別年間研修計画（1/2）】

	ケアハウス	大庭デイサービス	あんしん	
			内部研修	外部研修
4月	支援の基本	接遇・理念	法令遵守	ブロック連絡会
5月	高齢者の皮膚疾患	交通安全	職業倫理、災害について	松江市事例検討会
6月	高齢者虐待防止	認知症 1回目	感染症 リスクマネジメント	ブロック連絡会
7月	認知症対応	熱中症・食中毒	アセスメント、事例検討	松江市事例検討会
8月	排泄支援（おム当て方等）	緊急時の対応（AED）	自己評価、サービス担当者会議	ブロック連絡会
9月	緊急時対応	認知症 2回目	虐待、事例検討	松江市事例検討会 地域ケア会議
10月	リハビリの目的	感染症予防・対応	接遇について	ブロック連絡会
11月	感染症予防・対策	介護技術（基本）	モニタリング、事例検討	松江市事例検討会 事業間研修
12月	アンケート結果から学ぶ	身体拘束・虐待	感染症	ブロック連絡会、大庭 地区連絡会議
1月	アセスメントの重要性	認知症 3回目	認知症ケアマネジメント	松江市事例検討会
2月	事故予防・対策	事故防止対策	医療連携、自己評価振り返り	ブロック連絡会 松江市ケアマネ研修会
3月	1年間の振り返り	1年の振り返り	振り返り、次年度に向けての課題検討	松江市事例検討会

	大庭ヘルパー		グループホーム 太陽の里	グループホーム本郷
	内部研修	外部研修		
4月	接遇・職業倫理		理念・接遇	事業所理念・接遇
5月	個人情報保護 法令遵守	地域医療勉強会	認知症ケア （定義・疾患）	認知症対応（BPSD 別）
6月	身体拘束・虐待防止		熱中症 食中毒予防対策	熱中症・脱水のリスクマネジメント
7月	感染症予防		看取り	食中毒
8月	熱中症予防		事故防止対策	緊急時対応 心肺蘇生法とAED
9月	事故防止	認知症実践者研修	防災・救命講習	防災
10月	接遇	認知症対応力向上研修会	感染症	感染症予防と対策
11月	認知症		リスクマネジメント	事故防止対策
12月	障がい者のサービス		虐待・身体拘束防止	身体拘束
1月	記録		認知症ケア （事例検討）	看取り
2月	介護技術		認知症ケア （事例検討）	高齢者に多い病気と 対策・対応
3月	緊急時の対応		介護技術	認知症ケア、事例から考える

各事業所年間計画に沿って計画的に研修を実施し、自己研鑽に努め適切なサービス提供が実施できるよう取り組みます。

## 【事業所別年間研修計画（2/2）】

	東出雲事業所			
4月	事業所理解			
5月	水害対策研修			
6月	食中毒			
7月	●認知症症状別対応			
8月	●認知症症状別対応			
9月	介護技術			
10月	事故防止			
11月	●認知症症状別対応			
12月	感染症			
1月	●認知症症状別対応			
2月	●認知症症状別対応			
3月	一年間を振り返って			

各事業所年間計画に沿って計画的に研修を実施し、自己研鑽に努め適切なサービス提供が実施できるよう取り組みます。